

新たな県立病院改革プランの取り組み状況

I 基本目標 「地域をささえ、つなぎ、共にすすむ」・「病院経営の効率化」

II 計画期間 4年間（平成29～32年度）

III 新たな県立病院改革プランの取組状況

青字は改革プランの表記

<南会津病院>

1 公的診療所への診療応援（地域医療支援センターとの連携等）

地域の公的診療所（只見町朝日診療所等）の診療応援を行い、地域住民の診療にあたります。
 なお、地域医療支援センターが行う診療所支援との連携等により効率的な診療応援体制を構築します。

- ◆地域医療支援センターの運営主体である市町村圏広域組合と協議を重ねており、年度内を目途に効率的な体制を構築します。

2 訪問看護ステーションの新設

『訪問看護ステーション』を開設し、在宅支援を必要とする方への訪問看護を平成29年度から段階的に実施します。

- ◆平成29年11月15日に訪問看護ステーションを開設予定。介護保険法に規定する訪問看護（予防含む）を実施。＜実施地域：南会津町・下郷町＞
 ⇒資料2-3のとおり

3 健康づくりの支援

健康指標の悪化が継続していることから、健康診断や町村と連携した出前講座等を通して、運動機能の低下を予防する取組や健康づくりの啓発を行います。

- ◆出前講座や医療相談会を開催し、地域住民の健康づくりの支援を行っている。
 また、今年度から、運動機能の低下（ロコモティブシンドローム）を予防する取組として、地域の健康教室などへ出向いて、体操や動作指導の実施を予定している。

<宮下病院>

1 老朽化への対応

地域住民の健康を守るという病院としての役割を果たすため、平成29年度中に、建替も含め、医療機能を十分に発揮するための方向性を整理します。

- ◆地域医療構想調整会議（会津・南会津区域）
 建替も含めた方向性を整理するため、機能強化（素案）を作成し、地域内病院長等で組織する本会議で説明した。
 ⇒機能強化（素案）は、資料2-4のとおり。
- ◆庁内調整
 機能強化（素案）を基礎として、庁内関係機関と協議を進めており、29年度内に建替も含めた方向性を整理する。

2 健康づくりの支援

健康指標の悪化が継続していることから、健康診断や町村と連携した出前講座等を通して、運動機能の低下を予防する取組や健康づくりの啓発を行います。

- ◆出前講座や院内健康教室を開催し、地域住民の健康づくりの支援を行っている。
 また、今年度の出前講座等に、運動機能低下（ロコモティブシンドローム）予防につながるメニューを設けており、地域住民の運動機能低下を予防する啓発等を行っている。

3 地域づくりへの参画

<イメージ1：地域づくりラボ>

病院スタッフが有する「専門的知識」や、人的ネットワークを活かし、病院内に、ラボ（研究・協議の場）に機能を付加し、地域づくりの役割を担います。

- ◆地域と病院が協力して超高齢化社会に対応するため、介護負担軽減対策や介護予防対策を地域関係者に紹介し、地域で超高齢化社会への対応を検討する取り組みを実施。
 ⇒在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」の実施（資料2-5のとおり）

<矢吹病院>

1 明るく開放的で快適な病院

軽度の「うつ」、「不安障がい」等による不調でも、気軽に受診できるよう明るく開放感のある外来と、個室中心の快適な病院にします。

- ◆こころの医療センター（仮称）基本計画の策定に向け、院内プロジェクトチームにおいて検討するとともに、地域の理解を得るため8月末に住民説明会を実施した。
 ⇒基本規模・機能及び整備イメージは資料2-6のとおり。

2 子どもの心のケア・児童思春期外来の充実強化『ふくしまモデル』

《児童思春期外来の充実強化》

- 医師確保を進めることで待機期間を短縮します。
- 相談直後から、医療スタッフ等による支援を開始する『ふくしまモデル』の構築に向け、県中・県南地区で先導的な取り組みを実施します。

- ◆児童思春期外来について、本年度から医師の増員により平日毎日診療する体制で実施している。診療件数が増加しているが、新患の予約待ち以前は4ヶ月であったが2ヶ月程度に短縮している。
 また、診察までの時間を臨床心理士が中心となって事前面談、ペアトレーニングの支援など「ふくしまモデル」を展開している。

3 訪問看護ステーションの新設

平成29年度から「訪問看護室」を『訪問看護ステーション』化することにより、サービスの対象者を広げ、精神障がいの者の自立を支援します。

- ◆29年4月に開設し、当院患者に限らずクリニックや病院から紹介された患者の訪問看護を提供している。＜訪問件数 H29.4～9月：1,748件（H28.4～9月：1,220件）＞

4 認知症への対応力強化

○『認知症初期集中支援チーム』に参画し、医療面の支援を行います。

○『認知症疾患医療センター』を設置し、県南地域における認知症疾患に関する診断・治療・専門医療相談や研修等を実施していきます。

- ◆矢吹町、中島村、泉崎村、西郷村の認知症初期集中支援チームへ参画しており、訪問支援や相談等に対応していく。
- ◆認知症疾患医療センターは6月に県から指定を受け開設。
 <H29.6～9月：外来新患17人、入院7人、相談23件>